

学校だより



# 平沼

令和3年5月31日  
横浜市立平沼小学校

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>



## しっかりと根を張る子に

副校長 桐畑 美登利

正門脇の紫陽花が色づき、「水無月」を迎えます。この時期は、降る雨の量が大変多いのに、「水の無い月」というのは不思議です。でも、この「無」は「無し」ではなく「の」を表していて「水の月」というのだそうです。この時期の雨は、稲などの植物にとって、なくてはならない雨なのです。

さて、毎日の登校時間に、職員は、正門や昇降口、また教室前等に立って子どもたちを迎えています。「おはようございます」とマスク越しに挨拶を交わします。平沼小学校には、相手の目を見たり、丁寧に頭を下げたりできる子どもたちが多くことに驚きます。挨拶は一人ひとりを大切にすると同時に、周りの人と関わりをもって自分自身の根を張る第一歩です。これからも素敵な挨拶が続けられるとよいと思います。「挨拶キーワード」として次のようにも言われています。

あかるく あいての目を見ながら あいさつします。

いつでも あいさつします。

さきに あいさつします。

つづけて あいさつします。



正門脇の  
紫陽花

さて、1年生は、自分で選んだ花の種を鉢に植えました。登校して、まず教室に入り朝の支度を終えると、また下履きに履き替えて花壇へと向かいます。雨が降り出しそうな曇った朝でも、自分のペットボトルを持って毎日一生懸命に水やりをしています。

「見て見て。芽が出たよ。」「今日は3つめの芽が出た。」と自分の朝顔やミニひまわり・風船かずら・おじぎ草・ほうせんかから、かわいらしい芽が出てきたことや大きくなっていることを報告してくれます。愛着をもって、毎日、植物と会話しながら世話をしています。

子どもの五感に変化が・・・と言われて久しくなりました。五感の反応が鈍いことや、刺激が強いと反応するが弱く穏やかだと反応しないことなども耳にします。でも、平沼の子どもたちの様子を見ると、その心配が払拭される思いです。

子どもたちが成長していく過程では、その時々で身に付ける大切なことがあります。草や花の色や香りを楽しみ、鳥のさえずりを聞くなど、五感を使って体験し、友達とのびのびと関わることで、身体を成長させ情操を豊かにし、様々な困難にも自力で乗り越えようとする力や、生命を守る力や周りの人への思いやりや優しい心が育ちます。そうしたなかで心の根が広く深く張られていきます。



平沼小懇話会

過日5月25日(火)に令和3年度第1回平沼小懇話会が開かれ、地域・PTAの懇話会委員の皆様と学校経営方針を共有させていただきました。子どもたちが安心して平沼の地に心の根を張ることができますこと、大変にありがたく思います。地域の皆様には引き続きお世話になりますが、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。